

# 団体概要

- **団体名** 一般社団法人HOMEステーション
- **体制** 代表理事 2 名、理事 5 名、監事 1 名
- **拠点** 大阪府大阪市平野区
- **事業概要** 地域児童への居場所提供、児童養護施設出身者等の若者への自立支援

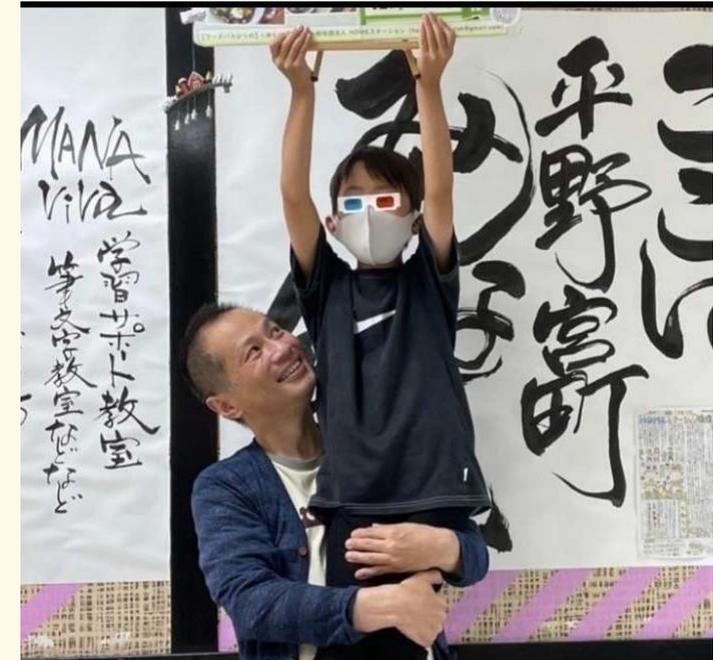
- **2019.07** 社会的養育を経験した若者の **食・住をサポート** する団体として設立
- **2020.05** コロナ禍の一斉休校により給食がなくて困る子どもへの **食支援**（お弁当の配布）を開始
- **2020.07** 居場所がない子どもが食事と遊びをして過ごせる場 **平野宮町みんな食堂** を開設
- **2020.12** **大阪市こどもの見守り強化事業** を受託し、気がかりな子どもを区と連携し見守る体制に
- **2023.04** こどもの可能性を広げる学びの場 **MANA-viva** を開設

# 平野宮町みんな食堂

こどもが誰でも自由に来ることができ、地域の大人に見守られながら安心して過ごせる居場所です。主に小学生が利用しています。

- 色々な大人や中高生との交流ができ、家庭や学校に困難がある子も気軽に立ち寄れる
- 親も悩みや不安を相談できる
- こどもの声に耳を傾け、こどもを見守り、状況に応じて行政や専門機関につなげる
- 多様な活動を通じて経験を広げる、こどもの挑戦を後押しする

居場所 オープン	毎週木・金：15～17時、土：12～17時 春・夏・冬の長期休暇には特別スケジュールを組み、週3回程度12～17時
昼食提供	土曜日 子ども無料、大人500円で提供
場所	イズミヤショッピングセンター平野店 1階専門店街
登録数	496人（2024年2月時点） 平日5人程度/休日35人程度が利用
運営	理事、学生ボランティア 調理は企業派遣の障がい者が従事
その他の 活動	落語、遠足、マルシェ、フリマ、 食品の無料配布（フードパントリー）など



# 平野宮町みんな食堂 ～活動の様子～

遊ぶ  
食べる



調理スタッフが休んだとき  
こどもが自発的にお手伝い



自然



BBQイベントでアウトドア



みかん狩り

自然と触れ合う体験

運動



卓球の場を提供  
@イズミヤ2階

社会  
文化



大学生とコラボで  
落語イベント



モノづくり体験  
@大阪市立クラフトパーク



クリスマスプレゼント  
思い出づくり

# 関係性ができて初めて見える姿

## 【主な利用児童】

- 隣接する小中学校の児童
- 利用登録者数 496名
- 延べ利用人数 約8,000人
- 来所児童数
  - 平日5人前後
  - 休日35人前後

一見すると問題が無さそうに見える子どもたちの中に...

**見守り強化対象児童数  
25名(R6年1月末時点)**

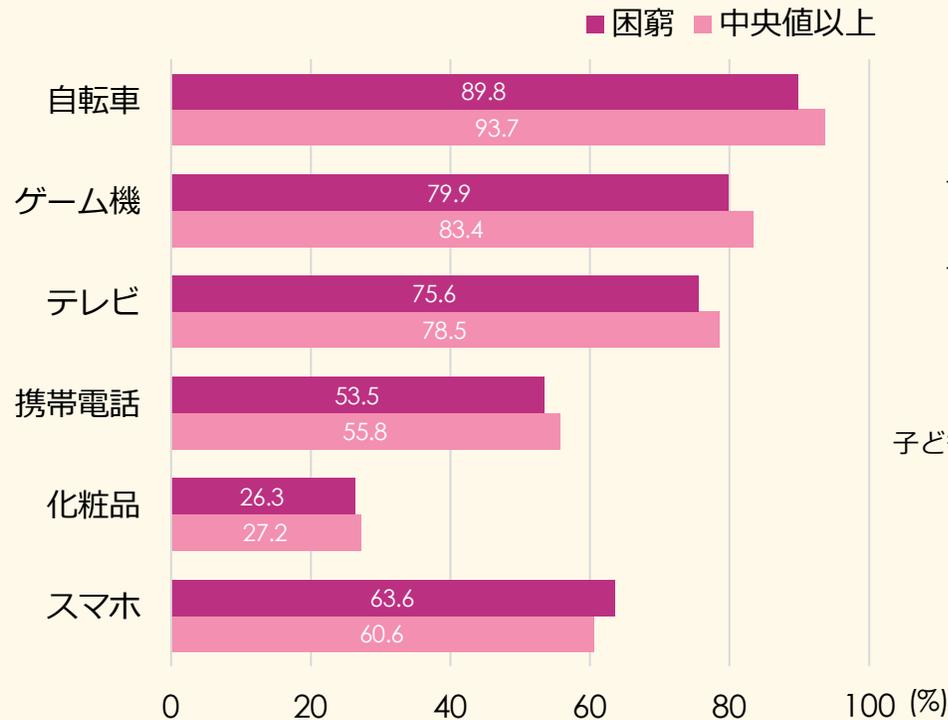
- 朝起こして貰えず学校を遅刻する（休む）子
- 朝食が菓子や夕食がUber Eatsの子
- 家族が夜勤のため兄妹だけで夜を過ごす子
- 文字が反転して見えて授業についていけない子
- 仕事で疲れた親を気遣って早朝から公園で遊ぶ子
- 親が病気がちで洗濯が滞るため同じ服を再度着る子

# こどもの現状 ～大阪市子ども生活実態調査からわかること～

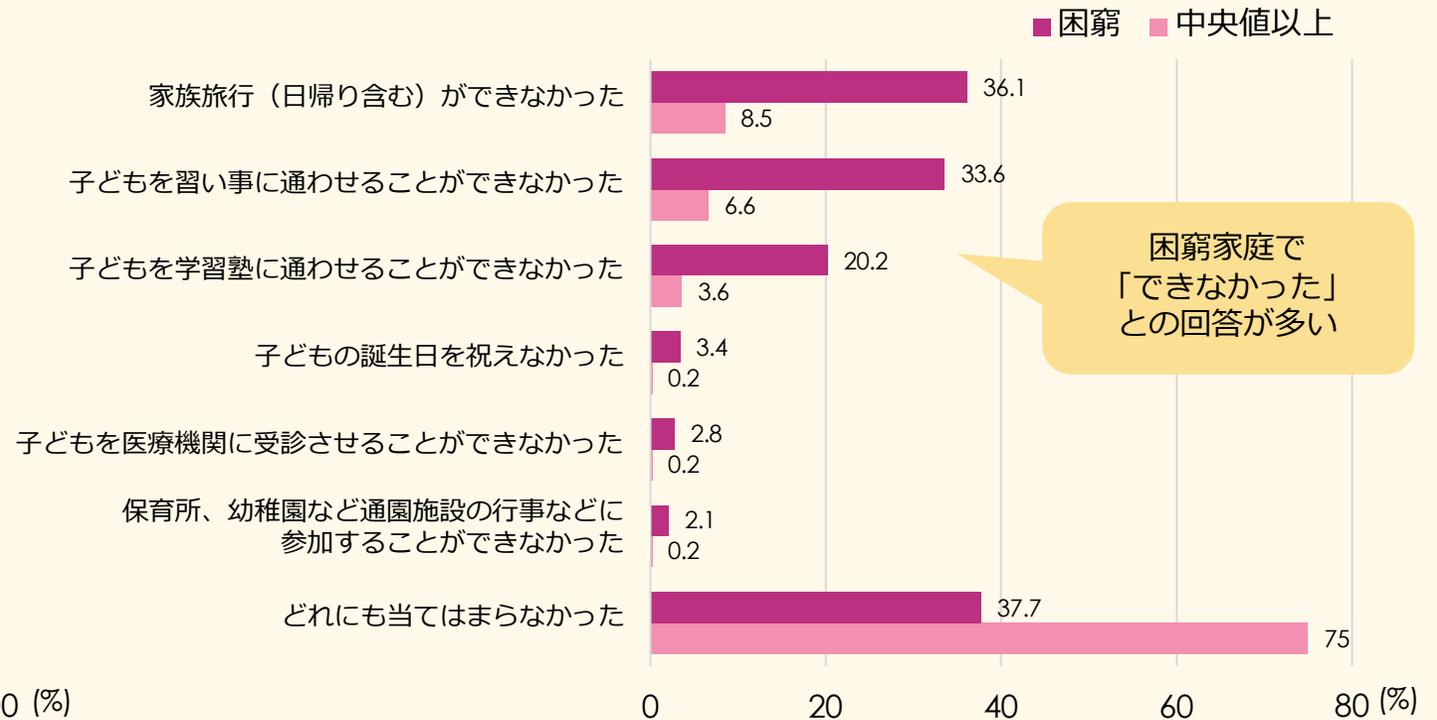
困窮している子どもと、そうではない子どもとは、「持っているもの」には大きな差がありません。

しかし、「できなかった」経験には困窮度による差があります。

困窮度別 こどもの持っているもの、使うことができるもの (抜粋)



困窮度別 子どもについて、経済的な理由による経験 (抜粋)

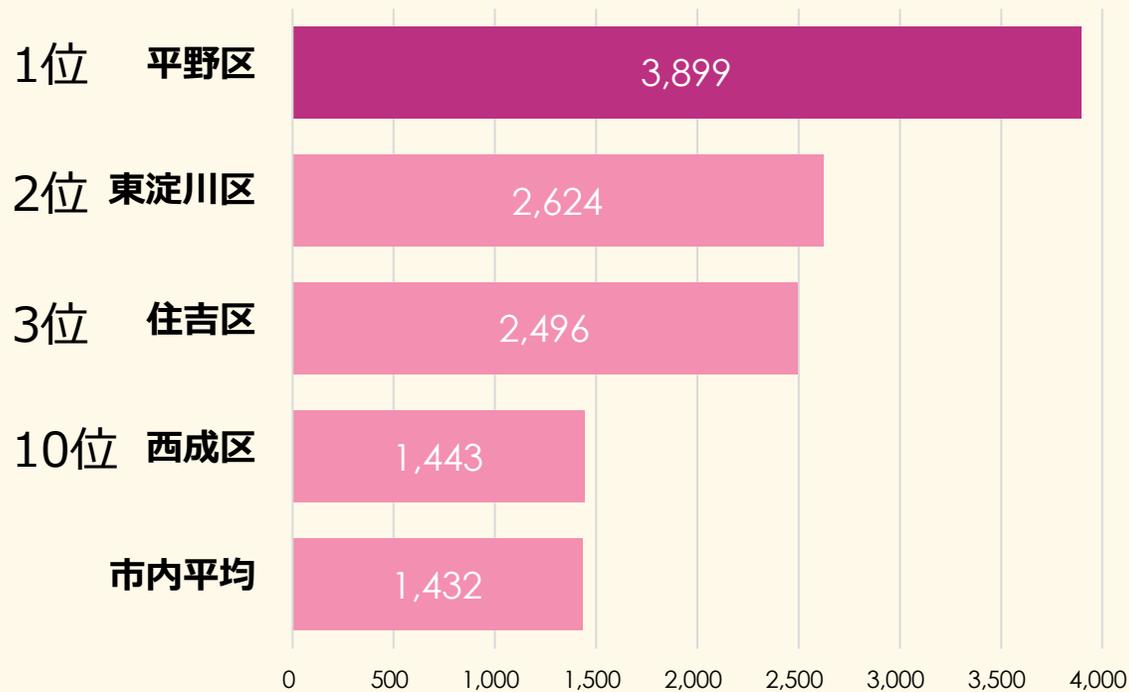


出典：大阪市子ども生活実態調査(H28年度実施) <https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000459136.html>

# こどもの現状 ~平野区ではどうなっているか~

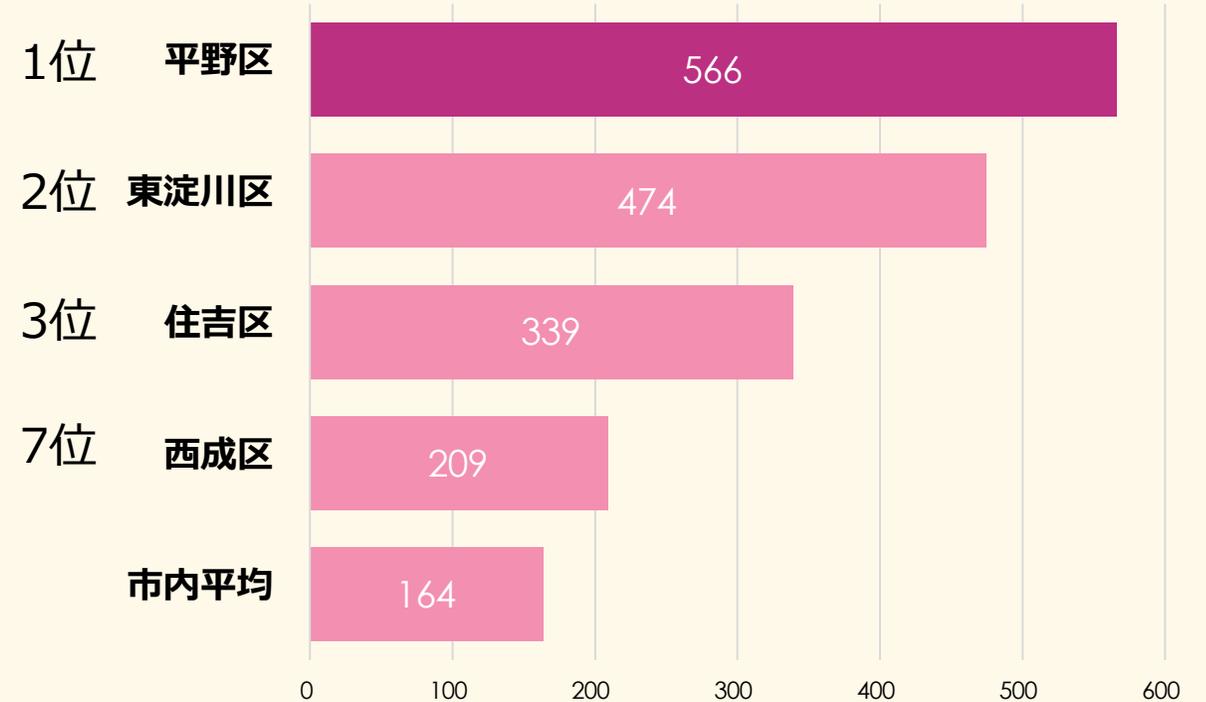
いずれの指標も、平野区の子どもたちの厳しい状況を物語っています。

令和3年度 大阪市 就学援助利用者数  
(抜粋 小中学校計)



出典：大阪市役所調べ

令和5年3月時点 生活保護世帯の母子世帯数  
(抜粋 区別)



出典：大阪市役所調べ



# 子どもの声と様子を拾い集めて記録する。

登録簿番号

15

報告月（報告月の月末日付を選択）

2024-01-06

報告月（和暦）

令和6年01月

来所回数

氏名

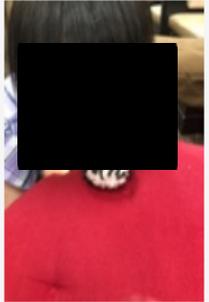
氏名（かな）

見守り強化報告番号（令和5年度）

14

こども画像

画像



生年月日

報告月の年齢

性別

第1週

日付	曜日	状況把握方法	来所目的	状況把握した内容
2024-01-06		①活動支援の場	フードパス	弟と一緒に料理教室に参加する。母親は仕事に行っていると話す。母親は姉にゲームの賞金に応募させるため携帯を食堂に残したままで本児童が帰りがる18時になっても連絡がつかない状況だった。

第2週

日付	曜日	状況把握方法	来所目的	状況把握した内容
2024-01-13		①活動支援の場	フードパス	母と弟と一緒に昼食を食べ、食べ終わると直ぐに母親に連れられ帰っていった。

第3週

日付	曜日	状況把握方法	来所目的	状況把握した内容
----	----	--------	------	----------

第4週

日付	曜日	状況把握方法	来所目的	状況把握した内容
2024-01-27		①活動支援の場	フードパス	母親と弟と一緒に昼食を食べる。

# 見守り強化対象児童としての判断が求められる

## 登録簿 (令和 5 年度)

2 枚のうちの 1 枚目

団体名 **〇〇子ども食堂**

登録簿 番号	登録・解除日	こどもの氏名		所属	支援対象児童等と判断する理由 (解除の場合はその理由) ※こどもや家庭の状況等
		生年月日			
		住 所			
1	<input checked="" type="checkbox"/> 登録日 令和5年4月1日	(ふりがな) 氏 名 おおさか たろう 大阪 太郎	平成24年1月1日 生	1 就学前 2 小学校 3 中学校 4 高 校 5 その他 ( )	要対協登録児童。 ひとり親世帯 (父子)、父親は仕事で不在がちであり、本児は不登校の傾向あり。 夜間、出歩く事も多く、生活面、食事面での見守りが必要。
	<input type="checkbox"/> 解除日	生年月日 住 所 大阪市 〇〇〇区〇〇1-2-3-456			
2	<input checked="" type="checkbox"/> 登録日 令和5年4月1日	(ふりがな) 氏 名 よどやばし はなこ 淀屋橋 花子	平成29年1月2日 生	① 就学前 2 小学 3 中学 4 高 5 その ( )	市外に転居につき、見守りを解除。
	<input checked="" type="checkbox"/> 解除日 令和5年5月20日	生年月日 住 所 大阪市 〇〇〇区〇〇1-2-3-457			
3	<input checked="" type="checkbox"/> 登録日 令和5年4月1日	(ふりがな) 氏 名 うめだ けんた 梅田 健太	平成21年1月3日 生	1 就学前 2 小学校 ③ 中学校 4 高 校 5 その他 ( )	ひとり親世帯 (母子) 母親、精神疾患により不安定。本児について、食事面、衛生面等、生活環境に不安あり。定期的な見守りが必要。
	<input type="checkbox"/> 解除日	生年月日 住 所 大阪市 〇〇〇区〇〇1-2-3-458			
4	<input checked="" type="checkbox"/> 登録日 令和5年4月1日	(ふりがな) 氏 名 きたはま きょうこ 北浜 京子	平成26年1月4日 生	1 就学前 ② 小学校 3 中学校 4 高 校 5 その他 ( )	ひとり親世帯 (父子)。父親、長期の入院により、見守りを開始していたが、先月退院により、職場復帰。本児、引き続き当活動の場を利用しているが、生活状況は安定しており、当面不安要素がなくなると判断し、見守りを解除。 以上、区役所子育て支援室と共有済。
	<input checked="" type="checkbox"/> 解除日 令和5年7月5日	生年月日 住 所 大阪市 〇〇〇区〇〇1-2-3-459			

記載例

※適宜、頁を追加してください。

# 求められる現認のハードルが高い

第 2 週	4月2日 (日)		前回よりも	* 状況把握日を記載
	4月3日 (月)	①目視による確認	改善	* 対象児童を目視により確認した際の状況を記載 ・「活動の場に対象児童本人が来所し、現認した。」
	4月4日 (火)		<input checked="" type="checkbox"/>	・「対象児童の自宅に食事を届けた際、玄関先で本人を現認した。」 など
	4月5日 (水)		変化なし	* 対象児童を現認した際の様子を記載
	4月6日 (木)	②目視以外の確認	<input type="checkbox"/>	・身なりや衛生状態、表情や気になる発言、行動など
	4月7日 (金)		悪化	* 対象児童の保護者や家庭の知り得た気になる情報を記載
	4月8日 (土)		<input type="checkbox"/>	

(様式第16号)

活動報告書 (令和 5 年 4 月分)

15 枚のうちの 7 枚目

②区保健福祉センター提出用

団体名	〇〇〇子ども食堂	登録簿番号	7
-----	----------	-------	---

状況確認日 (週単位：日曜日～土曜日)		状況把握方法 ※該当する番号を選ぶ	状況把握した内容 (こどもの様子や状況等)	
第 1 週	3月26日 (日)		前回よりも	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; color: white; background-color: #007bff;">記載例</div>
	3月27日 (月)		改善 <input type="checkbox"/>	
	3月28日 (火)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	3月29日 (水)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	3月30日 (木)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	3月31日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月1日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
第 2 週	4月3日 (月)	①目視による確認	改善 <input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 対象児童を目視により確認した際の状況を記載</li> <li>・ 「活動の場に対象児童本人が来所し、現認した。」</li> <li>・ 「対象児童の自宅に食事を届けた際、玄関先で本人を現認した。」 など</li> <li>* 対象児童を現認した際の様子を記載</li> <li>・ 身なりや衛生状態、表情や気になる発言、行動など</li> <li>* 対象児童の保護者や家庭の知り得た気になる情報を記載</li> </ul>
	4月4日 (火)		改善 <input checked="" type="checkbox"/>	
	4月5日 (水)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	4月6日 (木)	②目視以外の確認	悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月7日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月8日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月9日 (日)		悪化 <input type="checkbox"/>	
第 3 週	4月10日 (月)		改善 <input type="checkbox"/>	
	4月11日 (火)		改善 <input type="checkbox"/>	
	4月12日 (水)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	4月13日 (木)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月14日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月15日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月16日 (日)		悪化 <input type="checkbox"/>	
第 4 週	4月17日 (月)		前回よりも	
	4月18日 (火)		改善 <input type="checkbox"/>	
	4月19日 (水)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	4月20日 (木)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月21日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月22日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月23日 (日)		悪化 <input type="checkbox"/>	
第 5 週	4月24日 (月)		前回よりも	
	4月25日 (火)		改善 <input type="checkbox"/>	
	4月26日 (水)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	4月27日 (木)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月28日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月29日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	4月30日 (日)		悪化 <input type="checkbox"/>	
第 6 週	5月1日 (月)		前回よりも	
	5月2日 (火)		改善 <input type="checkbox"/>	
	5月3日 (水)		変化なし <input type="checkbox"/>	
	5月4日 (木)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	5月5日 (金)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	5月6日 (土)		悪化 <input type="checkbox"/>	
	5月7日 (日)		悪化 <input type="checkbox"/>	

# 子どもを見守る場所の運営費としては使いづらい

(補助金の額)

第5条 補助金の額は、次のとおりとする

(1) 前条第1号に定める経費については、**支援対象児童1人につき1回あたり1,000円**

を上限とし、週（日曜日から土曜日まで）2回までとする。

(2) 前条第2号に定める経費については、200,000円を上限とする。

(3) 補助金の額は、第1号及び第2号の経費の合計額とし、1か所あたり9,729,000円を上限とする。

(4) 第1号及び第2号の経費については、実績報告ごとに1,000円未満の端数は切り捨てとする。

(5) 補助金の交付額の総額は、予算に定める額を限度とする。

## 収支決算書 (「活動費」補助(上半期分))

(収入の部)		単位:円
項目	金額	内容
大阪市補助金 (「活動費」補助)	321,000 円	1,000円×延べ <u>321 人</u> = <u>321,000 円</u>
自己資金	0 円	
合計	321,000 円	

※補助金は、1,000円未満の端数は切捨て

# 企業の支援・連携実績

## イズミヤ・阪急オアシス株式会社 様

平野宮町みんな食堂の運営場所として、イズミヤ平野店専門店街の一角を格安で賃貸していただいています。

## ミライフ西日本株式会社 様

火おこし体験&バーベキューイベントを開催いただきました。

## 大阪ガス株式会社 様

Daigasグループの企業ボランティア活動「小さな灯」運動の一環として、食材支援をいただきました。

このほか、生活協同組合おおさかパルコープ 様、森永乳業販売株式会社 様、カミテック株式会社 様、株式会社マルハン 様、ピザーラ平野店 様、DOMINO'S PIZZA 生野・加美店 様、株式会社小林新聞舗 様、大阪平野ロータリークラブ 様から、食材提供・イベント企画など、さまざまな形でご支援いただきました。

### ▼ミライフ西日本様 火おこし体験

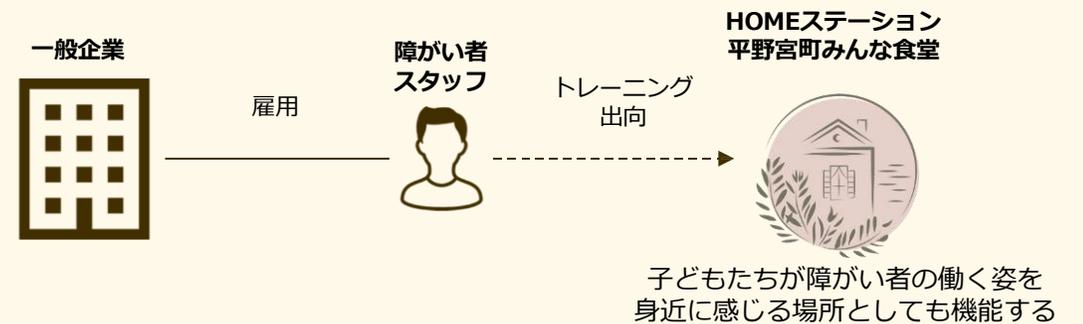


### ▼大阪ガス様からの食材支援



## 株式会社GIVE&GIFT 様

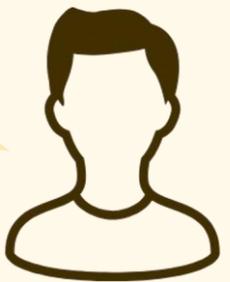
GIVE&GIFTが運営する「ユニリク」（ユニバーサル・リクルーティング）の仕組みを活用し、企業から派遣される障がい者を平野宮町みんな食堂の調理スタッフとして受け入れ、活躍していただいています。



### 精神障がいを抱えながら働くスタッフの声

平野宮町みんな食堂では、ボランティアの方々や「ユニリク」のメンバーが分け隔てなく働いています。一人ひとり無理のないペースで仕事ができる働きやすい環境です。

私は調理師経験を活かして、予算や子どもの嗜好に合わせたメニュー考案、調理から片付けまでの仕事を担い、責任を持って取り組んでいます。子どもと一緒に遊ぶこともたくさんあり、楽しく、「あたたかい気持ち」が感じられる場所です。



# 自治体との連携・助成受領実績

## 大阪府

- **2023年度「NPO等活動支援による社会課題解決事業」対象に採択**  
大阪府による情報発信等の後援を受け、2023年5月～6月、MANA-viva継続運営を目的としたクラウドファンディングに挑戦。  
2,576,000円 174人の方から支援をいただきました。

### ▼キックオフイベントの様子



### ▼当初目標192万円を上回るご支援をいただきました



## 大阪市

- **2020年度～「大阪市こどもの見守り強化事業」を受託**  
平野宮町みんな食堂を訪れる子どもを見守り、気がかりな点について大阪市への報告を行っています。
- **2020年度～「大阪市塾代助成事業」を受託**  
MAVA-viva利用者は、大阪が発行する塾代助成カードを活用し、費用の助成を受けることができます。

## 助成金受領

### 2020年度

- 赤い羽根共同募金 多様な4つの居場所事業
- NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ 新型コロナウイルス対策緊急支援プロジェクト助成事業

### 2022年度～

- 一般財団法人カゴメみらいやさい財団 子ども食堂が行う居場所づくり等事業
- 一般社団法人全国食支援活動協力会 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業

## 理念 バリュースタイル（行動するにあたり大切にすること）



- 私たちは、こどもや若者一人ひとりの**変化**や**成長**を心から喜びます。
- 私たちは、こどもや若者一人ひとりの**本音**を否定せず大切にします。
- 私たちは、こどもや若者が私たちに**依存**することを喜びません。
- 私たちは、指導する先生ではありません。**対等**な人間としてこどもや若者に接します。
- 私たちは、関わるすべての人にとっての土台です。

**主体的にチャレンジしているこども・若者・取り巻く大人たちを真剣に応援します。**